

## 令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
国語	論理国語	5	3-2~7

### 1. 学習の到達目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
- ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることを目指す。

### 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	論理と出会う 「論理的な人」とはどういう人か  具体と抽象 ウサギの耳はなぜ長い？  対比をとらえる デジタル地図から見える世界  主張をつかむ 「考える葦」であり続ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理の本質についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を養わせる。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。</li> <li>・デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係を捉えさせる。</li> </ul>
2 学 期	統計資料 を活用する 量の時代から質の時代へ  若者の「海外旅行離れ」は本当か  比べて読む 紙の本はなくなる  思考を深める ミロのヴィーナス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係を捉えさせる。</li> <li>・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取らせる。</li> <li>・美についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠を捉えさせる。</li> </ul>
3 学 期	現代を考える 「である」ことと「する」こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えをより広げさせる。</li> </ul>

### 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期テスト、提出物、授業態度等による。
------	---------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	表現や理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、社会生活に必要な知識を身に付ける。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて筋道を立て、表現を工夫して話したり文章に書いたりする。	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。

### 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	新編 論理国語 (大修館書店)
副教材	パスポート国語必携 四訂版 (桐原書店) 常用漢字 ダブルクリア 四訂版 (尚文出版)